

主題について

指導者 河村 由紀恵 (T1)

保田 典子 (T2)

ねらいとする価値

人は、生きていく上で、自分の仕事に喜びを見だし、生きがいをもって働いていけるようにすることが大切である。

働くことは、自分の生活の維持向上を目的とするだけでなく、働くこと自体が、自分に任された仕事をやり遂げることで社会に貢献するという意味においても大切である。また、役に立ったという喜びは充実感を増し、生きがいをもって働くことができる。

家庭や学校等の身近な人から地域などへの社会集団へと関わりを広げながら、働くことの大切さを知ることにより、進んでみんなのために働こうという態度を養いたい。

児童の実態

① 本学級の児童は、毎日一人一人に課された係活動や当番活動を行っている。活動する中で、「きまりだからしている」「楽しいからしている」といった意識で活動している児童が少なくない。

また、地域の人々に支えられているという意識をもっている児童は多くない。

② 道徳科の時間では、自分の考えを積極的に書いたり、述べたりすることができる児童がいる一方で、自分の考えがもてなかつたり、考えをもちながら述べることができなかつたりする児童がいる。また、自分との関わりで考えることが難しいため、友だちの考えを聞いて自分の考えを深めたり、自分の生活に生かせる児童を増やしたりしていきたい。

教材について

「わたし」は渋々夏休みの手伝いをごみ捨てにした。しかし、ごみステーションで汗をかきながら笑顔で長い時間、自ら進んで働くおじいさんの姿を見たことで、「わたし」はおじいさんと自分の違いを考え始めた。その時の私の心情を考えることによってねらいとする価値に迫りたい。

考え、議論する道徳科の時間を充実させるために

○ 社会科・総合的な学習の時間や特別活動と道徳科の授業を関連させ、体験活動を生かした道徳科学習プログラムの作成

児童は、自分に課された役割を果たす大切さについて学びながら、「きまり」だからしているという意識から進んで働くという姿が見られにくい。

社会科では地域の探検に行き、校区の主な建物や土地の特色を知るとともに、そこで働いている人や利用している人など、「人」にも触れさせていく。総合的な学習の時間では「海田市ガイドの会」の方々によるガイドツアーに参加する。その際、海田町の先人の思いやそこに住む人や世話をしている人たちの思いも聞いていきたい。自分のためだけではなく、海田町をよりよくするためや、地域や周りの人のために進んで働くことの大切さに気付き、自分も進んでしようとする態度を養いたい。

○ 道徳的価値を捉え、自己の生き方を深める発問の工夫

導入では、児童が自分の係活動や当番活動を振り返ることを通して、ねらいとする価値への方向付けを行う。

展開前段では、渋々ごみ捨てをしている消極的な「わたし」の様子を捉えさせることにより「うちのごみすてがかり」になった「わたし」の心情を考えさせる。また、おじいさんにごみステーションを片付けている理由を聞いた時に、おじいさんの行為を不思議に思っている私の心情を考えることで中心発問につなげたい。

中心発問では、他のごみステーションと自分たちのごみステーションの違いに気付き、お母さんからおじいさんの話を聞いた時に、おじいさんと自分を比べた時の「わたし」の内面について考えさせ、「このあと『わたし』はどうするか。」という補助発問によってさらに考えを深めさせたい。

展開後段では、自己について見つめることができるように、これからの生活でどのように働き、自分のできることはなにかを考えさせ、みんなのために進んで働こうとする態度を養いたい。

2 本時のねらいと授業の展開

本時の学習

(1) 本時のねらい

ごみステーションを片付けているおじいさんと自分を対比させ、「わたし」の内面を考えさせることを通して、みんなのために働くことの大切さに気づき、自分にできることを考え、進んでみんなのために働こうとする態度を養う。

(2) 本時の学習展開

過程	学習活動 ○主な発問 ●中心発問 ・予想される児童の心の動き	◇指導上の留意事項 □道徳科学習プログラムとの関連 □発問の工夫 *評価
導入	<p>1 事前に行ったアンケート結果を見ながら本時で考えたいことを確認する。</p> <p>○どのような気持ちで係や当番活動をしていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めんどくさいときがある。 ・嫌だな。 ・決まりだからしょうがないな。 ・楽しいな。・褒められて嬉しい。 ・自分がしないとみんなが困るな。 ・みんなの役に立てているな。 	<p>◇これまでの自分の生活経験を振り返らせ、交流することで、本時のねらいとする価値への方向付けを行う。(T1, T2)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">考えること：働くことについて</div>		
展開前段	<p>2 資料について考える。</p> <p>○「うちのごみすてがかり」になった「わたし」の気持ちを考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早起きが嫌だな。 ・重いし臭いから嫌だな。 ・夏休みだから遊びたいな。 <p>○まだ、片付けをしているおじいさんを見て「わたし」はどんなことを思ったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして片付けているのだろう。 ・どうして袋の口をしばっているのだろう。 ・道路にはみ出さないようにしているのはなぜだろう。 ・自分のごみを捨てに来ただけじゃないのかな。 	<p>◇ごみ捨て係になったことだけでなく、夏休みに渋々ごみ捨てに行く「わたし」の心情を考えながら、その様子を想像できるように挿絵を出して確認しながら資料を読む。(T1, T2)</p> <p>◇おじいさんの行動を疑問に思っている「わたし」の気持ちを考えさせるため、「わたし」の表情が分かるよう挿絵を活用して疑問に思っている私の心情を捉えさせ、「自分のため」だけではないということをつなげるため注意して取り上げる。</p> <p style="text-align: right;">(T1, T2)</p>

	<p>● ごみステーションの片付けをしているおじいさんと自分を比べて、「わたし」はどんなことを考えたでしょうか。 (わたしのこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わたし」はいいやいやごみ捨てをしているな。 ・「わたし」は宿題だからしょうがなくしているな。 <p>(おじいさんのこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おじいさんは自分のごみ捨てだけでなくみんなのために働いている。 ・おじいさんがいなかったらみんなが困るな。 ・おじいさんは誰にも頼まれていないのに自分ができることを考えてしているのだな。 ・「みんなのため」に片付けているおじいさんは素敵だな。 ・「わたし」もおじいさんのようにみんなの役に立つことをしたい。 ・「わたし」も自分からみんなのためにできることをしていきたい。 	<p>口発問の工夫（共感的な発問）</p> <p>「わたし」とおじいさんを比べて考える「わたし」の内面を考えさせることで、手伝いだからしている「わたし」と違い、自ら進んで「みんなのため」に働くおじいさんの素晴らしさに触れ、自ら進んでみんなのために働く大切さに気付かせたい。</p> <p>◇ワークシートに書く活動に取り組みさせた後、ペアトークで自由に発言させる。その後全体で多様な意見に触れられるようにする。 (T1, T2)</p> <p>◇進んで働こうとする「わたし」を想起させ、「わたし」と自分を重ねられるように共感的な意見を取り上げる。そのため、次のような補助発問を用意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もおじいさんに「きれいにしてほしい」「ごみをすぐに集められるようにしてほしい」などと頼んでいないのになぜおじいさんは片付けているのだろうか。 (分析的な発問) ・この後、「わたし」は、どのようなことをするでしょうか。(投影的な発問) (T1) <p>*「わたし」がおじいさんと自分を対比させて考えたことを通して、自ら進んで働くことの大切さに気付いている。 (ワークシート、発言)</p>
<p>展 開 後 段</p>	<p>3 これからの生活で大切にしたいことを考える。</p> <p>○私たちの周りでおじいさんのように自分から進んでみんなのために働いてくれている人はいますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生、家族・友達 ・朝、学校の前に立ってくれている人 ・交通安全ボランティアの人 ・海田市ガイドの会の人 	<p>◇今まで、あまり心に留めていなかった地域の人について想起し、自分たちのために働いてくれていることに気付かせる。また、感謝や尊敬の念を抱かせるため「〇〇さんのことをあなたはどう思うの？」と聞くことで児童の中から感謝や尊敬の言葉が出てくるようにする。 (T1)</p>

	<p>○また、自分たちにもできそうなことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスのために整理整頓をしたい。 ・友達の為に自分の係を責任もってしたい。 ・自分にできそうなことは、手伝ってあげたい。 ・小さい子や1・2年生のお世話をする。 ・地域のごみステーションの掃除やクリーン活動に参加したい。 	<p>口道徳科学習プログラムとの関連</p> <p>総合的な学習の時間で作成した地域の地図を提示しておき、児童が地域のことについて想起しやすいようにしておく。さらに「海田市ガイドの会」の方の映像を流すことで自ら進んで町のために活動してくれていることに気付かせたい。</p>
<p>終 末</p>	<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <p>○今日の学習の振り返りを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで、「きまりだから」と思って係の活動をしていたけれど、「みんなのために働くことは素敵なことだ」と思って働きたいと思いました。 ・今までは当番の仕事を「めんどくさいな」と思ってしていたけれど、自分が働くことでみんなが生活しやすくなると嬉しいので自分から進んでしていきたいなと思いました。 ・係活動は楽しいなと思ってしていたけど、自分のことしか考えていなかったな。今度からはみんなが過ごしやすいように係活動をしていきたいな。 	<p>◇「始めの自分の考えと今の自分の考えを比べてみよう。」「今日分かったことやなるほどと思ったことはありますか。」を振り返りの視点として示し、導入で掲示したアンケートを振り返らせることで自己の変容に気付かせる。(T1)</p> <p>◇自分が多くの人に支えられていることに気づき、感謝や尊敬の念をもつ自己の変容について気付いている児童の考えを全体に紹介する。(T1, T2)</p> <p>*自分たちの生活が、身近にいる人や地域の人のために自ら進んで働いてくれている人たちによって支えられていることに気づき、自分にもできることがないかを考えることができている。(T1, T2)</p> <p>(ワークシート, 発言)</p>

(4) 板書計画

6/25 (水) ごみステーション

テーマ はたらくこと

夏休みの宿題
ごみすて係

重い
くさい

絵

早起きが嫌だな。
重いし臭いから嫌だな。
夏休みだから遊びたいな。

みんなの場所をキレイにすれば
きもちよくするからだよ。それ
に、ゴミを回収する人がすぐに集
められるようにね。

どうして袋の口をしぼって
いるんだろう。
道路にはみ出さないようにし
ているのはなぜだろう。
自分のゴミを捨てに来ただけ
じゃないのか。

絵

絵

はっとした

絵

ずいぶん前 いつも

道路にはみださないように
ふくろの口をしぼる

絵

絵

・おじいさんは自分のごみ捨てだけでなく
みんなのために働いている。
・おじいさんがいなかったらみんなが困る
な。
・おじいさんは誰にも頼まれていないのに自
分ができることを考えてしているんだな。
・「みんなのため」に片付けているおじいさ
んは素敵だな。
・「わたし」もおじいさんのようにみんなの
役に立つことをしたい。
・「わたし」も自分からみんなのためにでき
ることをしていきたい。

ガイドの会の方の
写真

朝のあいさつの人
・登校見守り
・ガイドの会の人

みんなのために
自分からすすんで

町や地域の人のために

身近な人のため

絵

自分のために

絵